

ロナセンテープ 20mg
 ロナセンテープ 30mg
 ロナセンテープ 40mg

【この薬は？】

販売名	ロナセンテープ 20mg Lonasen Tape 20mg	ロナセンテープ 30mg Lonasen Tape 30mg	ロナセンテープ 40mg Lonasen Tape 40mg
一般名	ブロンアンセリン Blonanserin		
含有量 (1枚中)	20mg	30mg	40mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、精神神経用剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳内の神経伝達物質の受容体に作用してそのバランスを整えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

統合失調症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・昏睡状態の人
- ・バルビツール酸誘導体などの中枢神経抑制剤の強い影響下にある人
- ・アドレナリンを使用している人(アドレナリンをアナフィラキシーの救急治療、又は歯科領域における浸潤麻酔もしくは伝達麻酔に使用する場合を除く)
- ・イトラコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール(経口剤、口腔用剤、注射剤)、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポサコナゾール、リトナビルを含む製剤、ダルナビル、アタザナビル、ホスアンプレナビル、エンシトレルビル、コビシスタットを含む製剤、ロナファルニブ、セリチニブを使用している人
- ・過去にロナセンテープに含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・心臓や血管の病気の人、低血圧の人、またはこれらが疑われている人
- ・パーキンソン病またはレビー小体型認知症の人
- ・てんかんなどのけいれんをおこす疾患を有する人、または過去にてんかんなどのけいれんがあった人
- ・死にたいと強く思ったり考えたりしたことがある人
- ・糖尿病の人または過去に糖尿病になったことがある人、糖尿病になりやすい人(血縁に糖尿病の人がいる人、高血糖の人、肥満の人など)
- ・脱水の人や栄養状態の悪い人
- ・長時間動かないでじっとしている人、長期間病床にある人、肥満の人、脱水状態の人
- ・肝臓に障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬[「○次の人は、この薬を使用することはできません。」を参照]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

- ・使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
- ・通常、成人には1日1回、ロナセンテープ40mg分を使用します。症状に応じてロナセンテープ80mg分まで増量されることがあります。
- ・使用量(テープの組合せ例)および回数は、次のとおりです。

一日量 (例)	40mg の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ロナセンテープ20mgを2枚 ・ロナセンテープ40mgを1枚
	60mg の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ロナセンテープ20mgを1枚および40mgを1枚 ・ロナセンテープ30mgを2枚
	80mg の場合 (最大)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロナセンテープ40mgを2枚
貼る回数	1日1回	
貼る場所	胸、お腹または背中 of のいずれかに貼り、 毎日、同じ時間を目安に（24時間ごとに）貼りかえます	

●どのように使用するか？

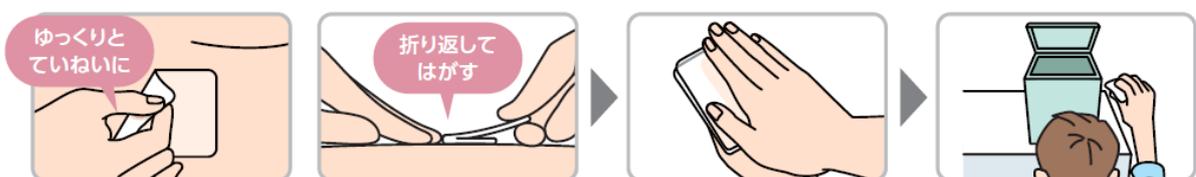
- ・傷や湿疹・皮膚炎などのある場所には貼らないでください。
- ・皮膚への刺激をさけるため、貼る場所を毎回変えてください。
- ・あらかじめ貼る場所の皮膚をタオル等で拭いて水分や汗を取り、清潔にしてください。
- ・包装袋は貼る直前に開けてください。開封後は速やかに使用してください。



- ・ハサミなどで切って使用しないでください。
- ・ライナー（透明フィルム）をはがしてから使用してください。



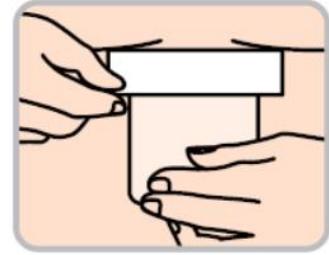
- ・貼りかえる際は、前に貼った薬をはがしたことを十分に確認してから、新しい薬を貼ってください。
- ・使用後のロナセンテープは、接着面を内側にして貼り合わせ、子どもの手の届かないところへ捨ててください。



●はがれた場合の対応

ロナセンテープが皮膚から一部はがれた場合は、サージカルテープなどでロナセンテープのふちを押さえてください。

完全にはがれて貼り続けることが難しい場合は、新しい薬を貼ってください。



●貼り忘れた場合の対応

決して2回分を一度に貼らないでください。

気がついた時に1回分を貼ってください。次の貼りかえは、いつもの貼りかえ時間を目安に24時間以内に貼りかえてください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気、注意力・集中力・反射能力などの低下がおこることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・興奮、誇大性、敵意などの症状が悪化したら、医師または薬剤師に相談してください。
- ・この薬の使用により、高血糖や糖尿病の悪化があらわれ、糖尿病性ケトアシドーシスや糖尿病性昏睡（吐き気、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸、意識の消失）などがあらわれることがあります。高血糖の症状（体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える）に注意してください。特に糖尿病の人、過去に糖尿病になったことがある人、糖尿病になりやすい人では、血糖値の測定などが行われます。
- ・患者さんや家族の方は、高血糖の症状があらわれることがあることを十分に理解できるまで説明を受けてください。これらの症状があらわれたらこの薬を使用するのをやめて、ただちに受診してください。
- ・この薬を貼った場所に、皮膚症状（赤み、湿疹、かゆみなど）があらわれることがあります。このような症状があらわれたら医師または薬剤師に相談してください。
- ・光線過敏症（日光のあたる部位に痒みや痛みを伴う発疹や、水ぶくれができやすい。日焼けをした場所が傷痕になったり、色がなかなか消えない。）があらわれることがあるので、使用中およびはがした後1～2週間は、貼った場所を衣服などでおおうなどして、直射日光があたらないようにしてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

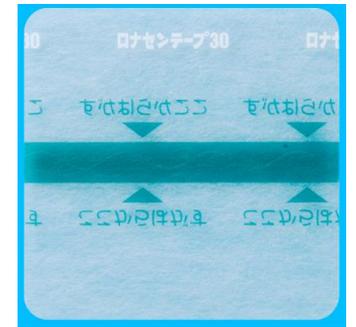
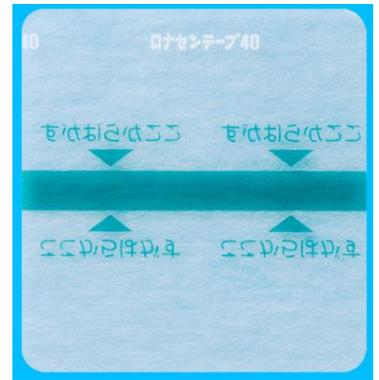
重大な副作用	主な自覚症状
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する
遅発性ジスキネジア ちはつせいジスキネジア	意思に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嚙むような口の動き、意思に反して体が動く
麻痺性イレウス まひせいイレウス	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群（S I A D H） こうりにょうホルモンふてきごうぶんびつしょうこうぐん（エスアイエーディーエイチ）	けいれん、意識の低下、意識の消失、吐き気、食欲不振
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
肺塞栓症 はいそくせんしょう	胸の痛み、突然の息切れ
深部静脈血栓症 しんぶじょうみやくけっせんしょう	皮膚が青紫～暗紫色になる、下肢のはれ、下肢のむくみ、下肢の痛み、下肢（もしくは、はれた部分）の熱感
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
高血糖 こうけつとう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える
糖尿病性ケトアシドーシス とうにょうびょうせいケトアシドーシス	吐き気、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸
糖尿病性昏睡 とうにょうびょうせいこんすい	吐き気、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸、意識の消失

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	高熱、汗をかく、体のこわばり、意思に反して体が動く、けいれん、脱力感、突然の高熱、寒気、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、体重が減る、食欲不振

部位	自覚症状
頭部	ぼーっとする、意識の低下、意識の消失
口や喉	話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、意思に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嘔むような口の動き、吐き気、嘔吐、喉の痛み、喉が渇く、水を多く飲む、甘酸っぱいにおいの息、
胸部	呼吸数が増える、胸の痛み、突然の息切れ、深く大きい呼吸
腹部	お腹が張る
手・足	手足のふるえ、脈が速くなる、手足のこわばり、手足のしびれ、下肢のはれ、下肢のむくみ、下肢の痛み、下肢（もしくは、はれた部分）の熱感
皮膚	皮膚が青紫～暗紫色になる
筋肉	筋肉の痛み
便	便やおならが出にくい
尿	尿が赤褐色になる、尿量が増える
その他	血圧が上昇する

【この薬の形は？】

販売名	ロナセンテープ 20mg	ロナセンテープ 30mg	ロナセンテープ 40mg
包装袋			
形状			
大きさ (縦×横)	62.4mm× 62.4mm	76.3mm× 76.3mm	90.6mm× 85.6mm
断面積	38.6cm ²	57.9cm ²	77.2cm ²
色	白色半透明～微黄色半透明のテープ剤で、 膏体面は透明のライナーで覆われている		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ブロナンセリン
添加剤	ミリスチン酸イソプロピル、ジブチルヒドロキシトルエン、その他4成分

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・この薬を使用するまでは包装を開けずに保管してください。
- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：住友ファーマ株式会社 (<https://www.sumitomo-pharma.co.jp>)

くすり情報センター

電話：0120-885-736

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)